

（株）島津製作所 瀬田事業所

2009年環境報告書

2009年9月25日

<事業所概要>

所在地 大津市月輪1丁目8番1号

事業所名 株式会社 島津製作所瀬田事業所

敷地面積 35,560 平方メートル

全建屋投影面積 16,900 平方メートル

代表者 所長 岩崎正弘

本社所在地 京都市中京区西ノ京桑原町1番地

<主な事業所内企業>

企業名 (株)島津製作所
フルイディスク機器部

従業員数 10名

営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター
油圧バルブ等の企画・開発

本社所在地 京都市中京区西ノ京桑原町1

企業名 島津メクテム (株)

代表者名 取締役社長 藤城亨

資本金 100百万円

従業員数 120名

営業品目 真空熱処理炉・歯車ポンプ
工業用X線検査装置
ガラスワインダーの製造・販売

企業名 島津プレジジョンテクノロジー(株)

代表者名 取締役社長 北野成一

資本金 30百万円

従業員数 160名

営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター
油圧バルブ等の製造

企業名 島津ロジスティクスサービス(株)

従業員数 14名

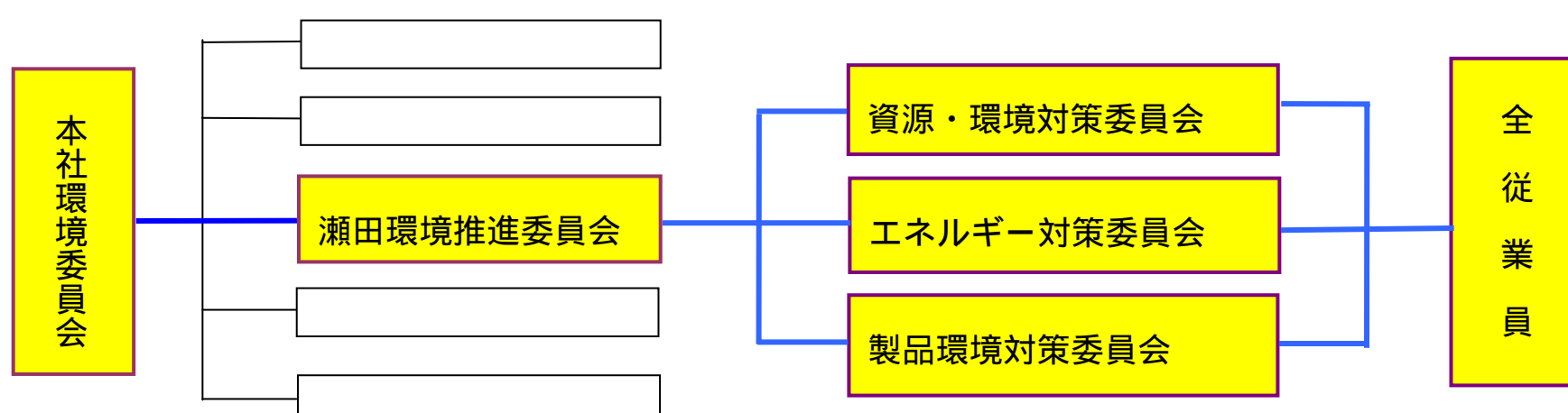
主な業務 製品出荷

その他常駐企業 8社

従業員数 35名

主な業務 運搬・警備・清掃他

<環境改善運動組織>



< 所長ご挨拶 >

当事業所は、(株)島津製作所（京都市）が定める環境方針に基づき、2001年2月に島津メクテム(株)・島津プレシジョンテクノロジー(株)および各協力事業所が一体となって大津市と環境保全協定を締結し、同年6月のISO14001認証取得により本格的な環境改善活動をスタートさせました。今日まで「廃棄物分別による紙類の有価物率やリサイクル率の向上」「省エネルギーの推進によるCO₂排出量の削減」「環境負荷物質を低減した環境にやさしい製品の開発」を大きな柱とし活動を担ってきました。また琵琶湖にも隣接しているため、水質保全にも特段の配慮をまいりました。

近年、地球規模の環境悪化は人類にとっても深刻な問題となっています。世界各地にはそれぞれ固有の自然があり、特有の生き物がいて、それらが密接につながり合っています。いわゆる人間や企業の営みは、生物多様性の恵みをさまざまな形で、恩恵を受けております。ところが、今地球上の動植物は1年間に約4万種が絶滅しており、生物多様性の危機が迫っております。われわれは、生物多様性の保全と持続可能な利用を企業活動に取り組んでいくうえで、もはや社会貢献のレベルではなく、必然の領域にあるとの認識のもとで受け止めております。

最近、地球温暖化防止が叫ばれ、低炭素型への産業構造転換の必要性に迫られています。われわれは、経済成長とCO₂削減の両立のため、低炭素社会の実現に向け、省資源・省エネルギー・環境負荷低減製品の開発など多くのテーマで地球環境問題に取り組み、持続可能な環境づくりに努めてまいります。そういった環境経営を実践することにより、生態系保全の活動に結びつけ、次世代の地球環境を視野に入れながら人と自然の共生関係を目指した事業活動を展開してまいります。

今後とも関係諸官庁および地域住民・地域企業各位の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申しあげご挨拶とさせていただきます。

以下に弊社の環境方針を掲示させていただきます。

2009年9月

(株)島津製作所瀬田事業所 所長 岩崎正弘

1. 基本理念

人類の健康と地球規模の環境保全は全世界共通の願いであり、社会の一員として地球環境問題を当社の最重要課題の一つとして位置づけ、当社経営理念「人と地球の健康」への願いを実現するべく企業活動を行い、地球を守り豊かな社会の実現に資する。

2. 基本方針

当社本社地区事業所は、環境分析・測定機器、などを含む、分析機器、計測機器、試験機器、医用機器、航空機器、油圧機器、産業機器、バイオプロダクト及びセンサ・デバイス、理化学器械の開発・製造の拡大に努めるとともに、本社地区事業所の本社機能、製品ならびにその製造過程及び関連サービスが環境に与える影響を的確に捉え、継続的な環境マネジメントシステムの改善により、持続的な環境負荷の低減と汚染の予防、社会の環境改善への積極的貢献を目指して、次の基本方針に基づき活動する。

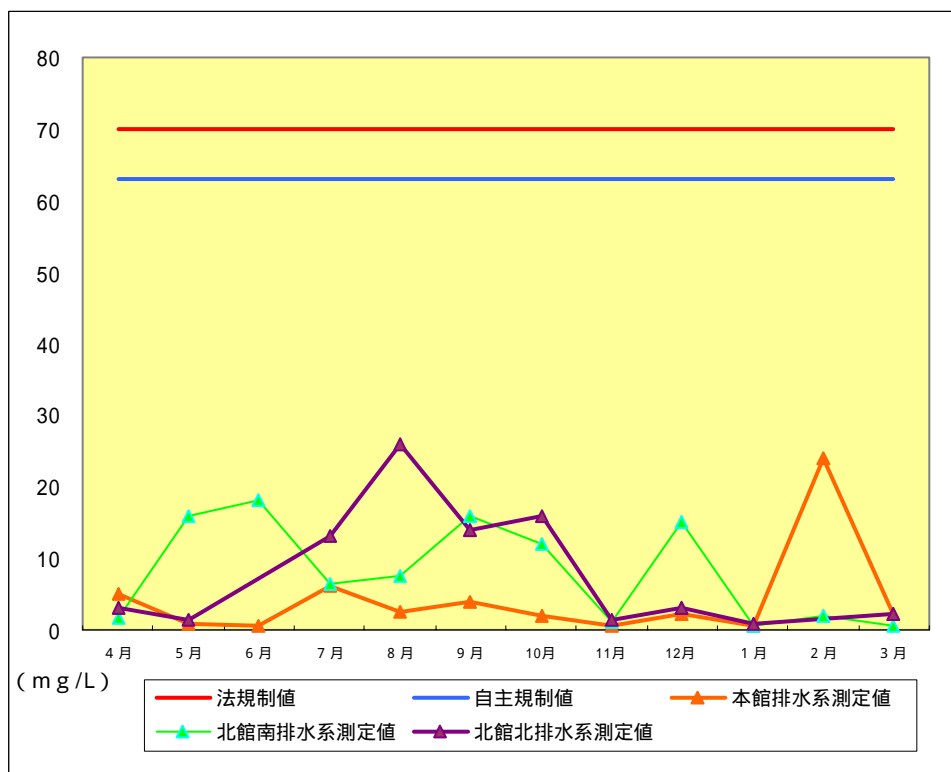
- (1) 地球環境の保全と事業活動との調和を、経営の最優先課題の一つとして、本社地区事業所をあげて取り組む。
- (2) 地球環境の保全活動を推進させるため、従業員及び敷地内で働く全ての人が活動できる組織を整備する。
- (3) 事業活動によって生じる環境への影響（環境汚染、資源減少、地球温暖化、オゾン層破壊など）を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境保全活動の継続的な向上を図る。
- (4) 国際的環境規制及び国、地方自治体などの環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。また、必要に応じて自主基準を策定して環境保全に努める。
- (5) 当社本社地区事業所が行う事業活動が、環境に与える影響のうちで、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進する。
 - エネルギー使用に係わるCO₂排出量の削減を図る。
 - 持続的な環境負荷の低減と社会の環境改善へ向け、積極的な環境貢献製品の開発を行なう。
 - 本社地区事業所で開発製作する製品が環境に与える負荷を低減する。
 - 環境に配慮した物品及びサービスの調達を積極的に推進し、地球環境負荷の低減を図る。
 - 蓄積された環境保全のノウハウを使って外部の環境活動を支援する。
 - 汚染物質が公共用水域に流出しないように排水水質の管理を徹底すると共に、汚染予防措置を図る。
 - 環境へ著しい影響を及ぼす化学物質等の使用量削減と管理並びに生産設備等の改善・維持管理を徹底し、汚染予防を図る。
 - 紙類の分別徹底による有価物率の向上、及び廃棄物のリサイクル推進を図る。
 - 非常時・緊急時に有害物質及びオゾン層破壊物質等が環境に著しい影響を及ぼさないよう予防措置に努め、その訓練を行う。
 - 本社地区事業所敷地内より発生し、敷地周辺に及ぶ騒音を抑え、近隣社会の生活環境の保全を図る
- (6) 地球環境保全に従業員及び敷地内で働く全ての人が責任をもって取り組むべく、環境教育及び啓発活動を行い、地球環境保全に資する。
- (7) 地域住民、関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献する。

< 2008年度の主な環境改善活動 >

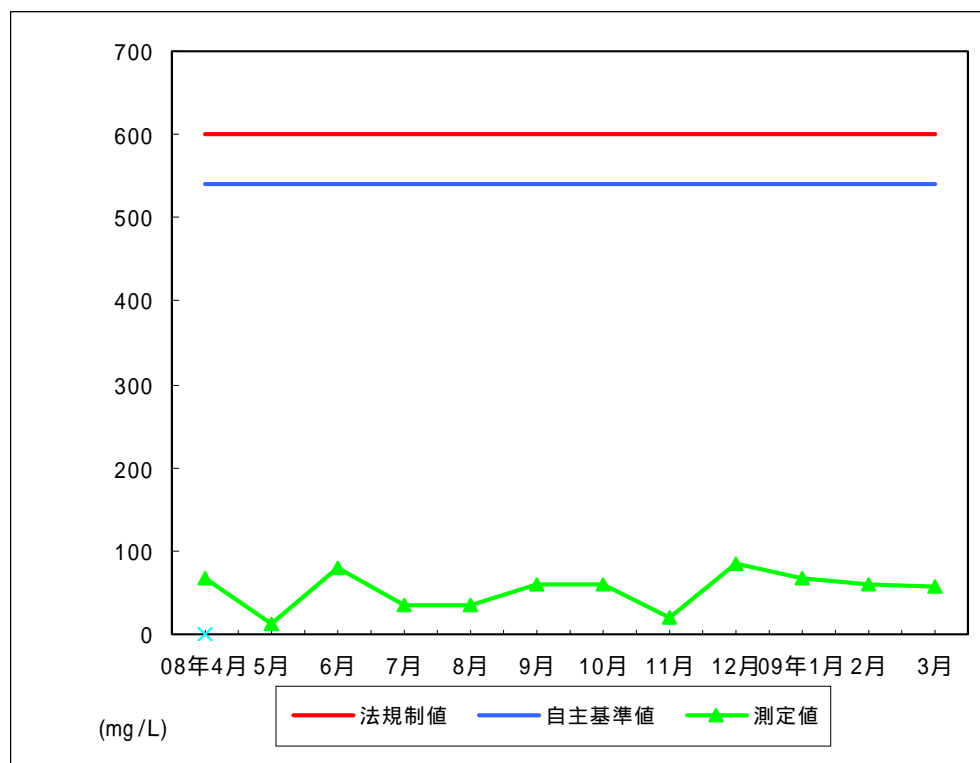
- ・ 2008年 3月 2009年度・環境改善計画を決定
- ・ 2008年 4月 ~ 新環境改善計画にもとづく、全従業員による改善活動の実施
- ・ 2008年 5月 省エネ日設定による、全面停電（5、6日）の実施
- ・ 2008年 5月 ~ 7月 環境マシ ャマニュアルにもとづく特別教育・緊急訓練および一般教育の実施
- ・ 2008年 7月 琵琶湖を美しくする運動参加（島津メクテムは、44年間連続参加）
- ・ 2008年 10月 上期環境自己行動宣言活動における自己評価の実施
- ・ 2008年 11月 内部監査の実施
- ・ 2009年 3月 省エネ型水銀灯（238灯）に改善した結果、消費電力約13.9万KWh / 年削減
ゼロエミッションを達成（リサイクル率100%）

《2008 年度環境改善活動実績の一部》

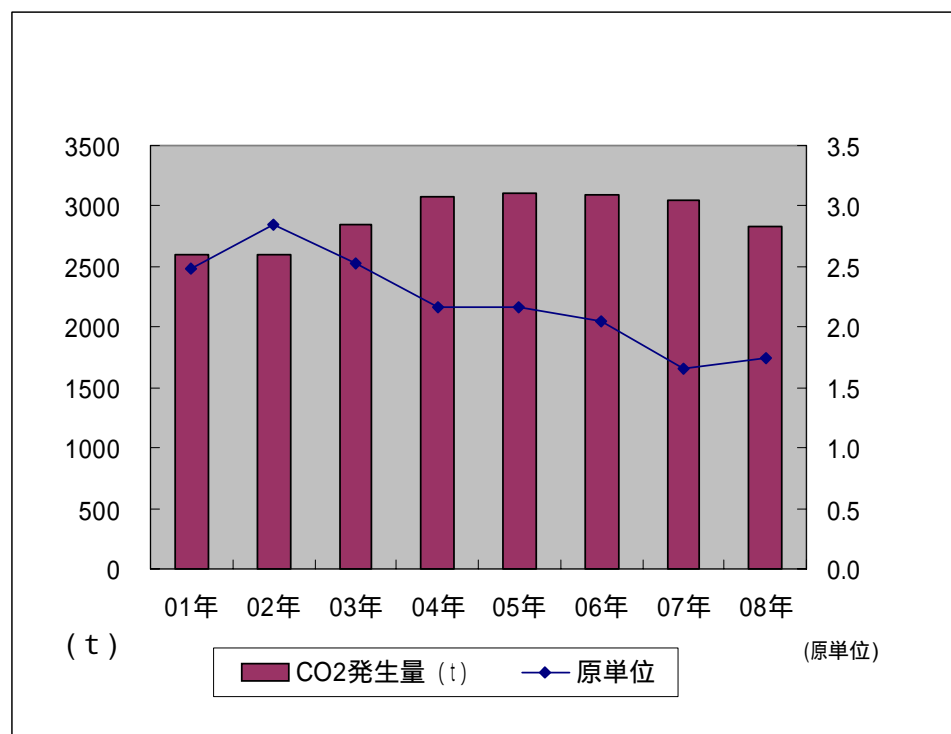
河川排水管理 (BOD 値)



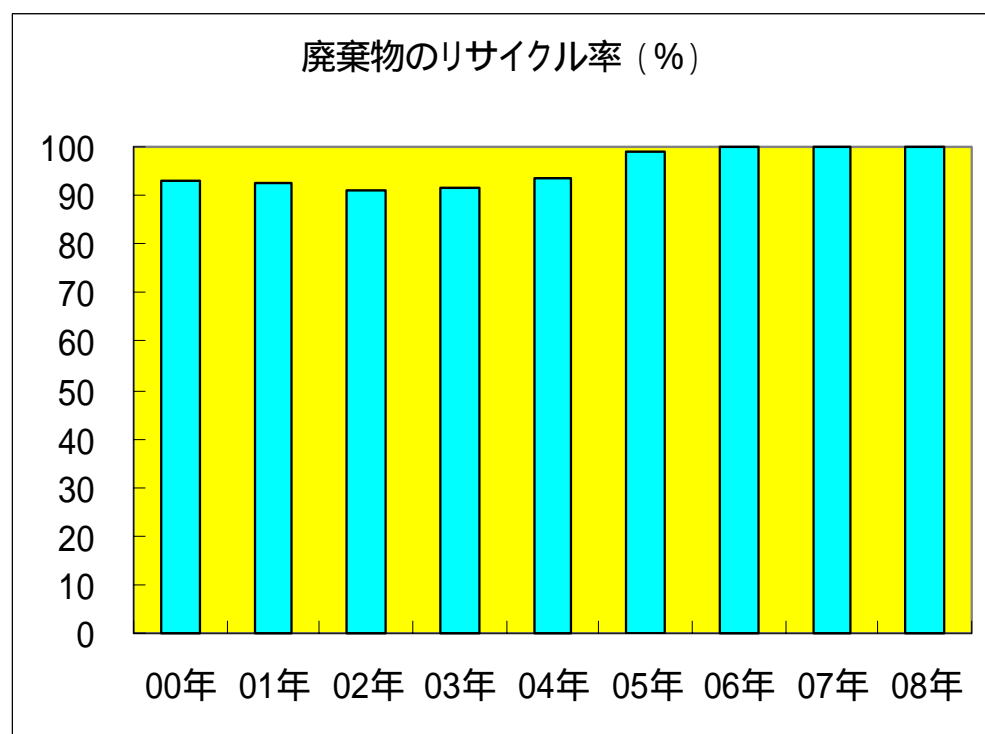
下水 (厨房) 排水管理 (BOD 値)



CO₂ 発生量 (エネルギー起因)



廃棄物排出管理



以上